

年間授業計画

第四商業高等学校（2学年）

教科： 家庭

科目 家庭総合

単位数： 2 単位

◆対象学年組：第2学年 A 組 ～ E 組

◆使用教科書：（ 東京書籍〔家総701〕家庭総合 自立・共生・創造 ）

◆教科： 家庭科 の目標：

【知識及び技能】：人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などに関する基礎的・基本的な知識と技能を身につけている。

【思考力、判断力、表現力等】：人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて課題を見だし、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し、表現を工夫するなど、生活を創造する能力を身につけている。

【学びに向かう力、人間性等】：人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて関心をもち、その充実向上を目指して主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身につけている。

◆科目 家庭総合（2年生） の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的にとらえ、家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境など、生活を主体的に営むために科学的な理解を図るとともに、それらにかかわる技能を体験的に身につけようとする。	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見出して課題を設定、解決策を構想・実践、考察するなど、生涯を通して生活の課題を解決する能力を養う。	さまざまな人と協働し、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとする。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
家庭総合を学ぶにあたって	指導事項 「家庭総合」を学ぶにあたって、学習の意義や内容、学習方法などを理解する。					1
第1章 生涯を見通す 【知識・技能】 ・生涯発達の考え方にたち、各ライフステージごとの特徴と課題について理解する。 ・充実した人生を送るためには、生活時間の配分や計画化及び将来の生活への目標や展望が重要であることを理解する。 【思考・判断・表現】 ・高校生活の課題、自己の生き方、将来の家庭生活と職業生活のあり方について考え方を深めながら、生活設計を立案する。 ・自分の将来について、ライフプランを描いてまとめたり、発表したりする。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・人の一生を生涯発達の視点でとらえ、各ライフステージの特徴と課題について考える。 ・意思決定の意義と方法を理解する。 ・様々なライフスタイルや生活にかかわる価値観、生活時間のありかたなどをふまえ、将来の生活設計について考える。	指導事項 1 ライフステージと発達課題 ①個人の発達段階の特徴と発達課題を知る。 ②ライフステージについて理解する。 2 意思決定と生活資源 ①意思決定のプロセスを実行することで、一時的な欲求を解決するだけでなく、長期的に展望のある選択ができることを理解する。 ②生活を支える資源にはどのようなものがあるかを理解し、自己実現のためにそれらを活用することについて考える。 3 ライフスタイルの選択 ①様々なライフスタイルがあることを知り、自分の将来のライフスタイルを具体的にイメージする。 教材等 教科書・学習ノート・資料集	第1章 生活のマネジメント 【知識・技能】 ・生涯発達の考え方にたち、各ライフステージごとの特徴と課題について理解している。 ・充実した人生を送るためには、生活時間の配分や計画化及び将来の生活への目標や展望が重要であることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・高校生活の課題、自己の生き方、将来の家庭生活と職業生活のあり方について考え方を深めながら、生活設計を立案したりしている。 ・自分の将来について、ライフプランを描いてまとめたり、発表したりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・人の一生を生涯発達の視点でとらえ、各ライフステージの特徴と課題について考えようとしている。 ・意思決定の意義と方法を理解しようとしている。 ・様々なライフスタイルや生活にかかわる価値観、生活時間のありかたなどをふまえ、将来の生活設計について考えようとしている。				10
第2章 青年期の課題と自立 【知識・技能】 ・青年期の自立について理解する。 【思考・判断・表現】 ・自立や男女の平等と相互の協力などの青年期の課題について、自己の生き方と関連させて考えを深め、まとめたり、発表する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・人の一生を生涯発達の視点でとらえ、青年期の課題について考える。	指導事項 1 青年期の発達課題 ・自分の生活と自分自身について理解を深める。 ・青年期の発達課題を達成するための生き方を考える。 2 青年期と自立 ・青年期は自立した生活が営めるように、また、自己実現にむけて生きていくための準備をする時期であることを理解する。 ・自立と同時に、多様な価値観や生き方を認めた他者と共生する「共生社会」と「持続可能な社会」の実現を目指すことも青年期の課題であることを理解する。 教材等 教科書・学習ノート・資料集	【知識・技能】 ・青年期の自立について理解している。 【思考・判断・表現】 ・自立や男女の平等と相互の協力などの青年期の課題について、自己の生き方と関連させて考えを深め、まとめたり、発表したりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・人の一生を生涯発達の視点でとらえ、青年期の課題について考えようとしている。				4
第3章 家族・家庭生活のマネジメント 【知識・技能】 ・現代の家族の特徴について理解する。 ・現代の家族の機能について理解する。 ・家事労働と職業労働の違いを理解する。 ・家族・家庭に関する法律について理解する。 【思考・判断・表現】 ・親子関係や夫婦関係など家族のありかたについて、具体的な事例や演習を通して考えを深め、まとめたり発表したりする。 ・家族・家庭に関する法律をもとに、社会制度としての家族の在り方について考えを深める。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・現代の家族の特徴、家族関係、家庭の機能、家事労働と職業労働、家庭・家族に関する法律に関心をもち、これからの家族のありかたや社会とのかかわりや社会制度としての家族について考える。	指導事項 1 家族の定義と家族構成の変化 ・「家族」の定義を理解する。 ・家族と世帯について理解し、現代の家族の特徴と社会のかかわりについて理解する。 2 家族の人間関係と家族の問題 ・家族の人間関係について事例等を通じて考える。 ・家族関係から生じる問題について知り、その解決方法について考え、必要な力を身につける。 3 家庭の機能と労働 ・家庭が家族個人や社会に果たしている機能を理解する。 ・家庭の機能が各家族員の協力によって果たされていることを認識し、各自の家庭の機能の役割を考える。 4 家族・家庭の法律 ・家族・家庭に関する法律を理解し、制度としての家族について考える。 5 家族・家庭と社会 ・家族・家庭に起こる問題の中には、社会全体で解決を目指すことなくならない問題があることを知る。 ・私たちの社会は、多様な生き方や価値観で成り立つ社会であることを理解する。 教材等 教科書・学習ノート・資料集	第3章 家族・家庭生活のマネジメント 【知識・技能】 ・現代の家族の特徴について理解している。 ・現代の家族の機能について理解している。 ・家事労働と職業労働の違いを理解している。 ・家族・家庭に関する法律について理解している。 【思考・判断・表現】 ・親子関係や夫婦関係など家族のありかたについて、具体的な事例や演習を通して考えを深め、まとめたり発表したりできる。 ・家族・家庭に関する法律をもとに、社会制度としての家族の在り方について考えを深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・現代の家族の特徴、家族関係、家庭の機能、家事労働と職業労働、家庭・家族に関する法律に関心をもち、これからの家族のありかたや社会とのかかわりや社会制度としての家族について考えた。				10
定期考査						1
第8章 住生活をつくる 【知識・技能】 ・住まいの機能について理解する。 ・住まいは気候風土に合わせ、材質や構造の工夫をすることで快適な空間を創造できることを理解する。 ・生活行為と住空間とのかかわり、動作に必要な広さ、家具の配置や動線などについて理解している。 ・平面図が読み取れ、住空間の計画について検討ができる。 ・健康に配慮した衛生的な住まいや室内環境の整備に必要な技術を身につける。 ・安全に配慮した室内環境の整備や住空間の整備に必要な技術を身につける。 ・防災・減災に対する備えについて理解する。 【思考・判断・表現】 ・住まいの機能や住空間と家族の暮らし方などについて、考えをまとめたり、発表する。 ・健康や安全に配慮した住まいや室内環境の整備について考える。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・住まいの機能、人間と住まいの関わりについて考える。 ・家族構成、ライフステージ、生活にかかわる価値観などに応じた住空間の計画について検討する。 ・健康で快適に生活するための住まいについて考える。 ・防災・減災について理解し、自分の住まいや地域の住環境を見直す。	指導事項 1 住まいの機能と住まい方 ①住まいの役割や重要性を理解する。 ②住まいや住生活の変化とその要因を知ることを通して、現代の住まいや住生活について考える 2 住文化の継承・創造 ①気候風土により、住まいが地域によって異なる特徴をもって発展してきたことを理解する。 ②世界の住文化について理解する。 3 住要求の特徴と住生活 ①住まいの平面図の基礎的知識を学び、平面図を読み取れるようにする。 ②ライフスタイルやライフステージによって住空間に対する家族の欲求がことなることを理解する。 ③生活行為と住空間のかかわりや、住空間の違いによって住まいの居住性が異なることを理解する。 4 快適で健康な住生活 ①快適な室内環境確保のための知識を身につけ、健康な住まいや住生活のあり方を考える。 5 事故・犯罪・災害に配慮した住生活 ①すべての人にとって安全な住まいの必要性を理解し、安全に配慮した住まいのあり方を理解する。 ②防災対策について知り、自分の生活にいかせるようにする。 教材等 教科書・学習ノート・資料集	第11章 住生活マネジメント 【知識・技能】 ・住まいの機能について理解している。 ・住まいは気候風土に合わせ、材質や構造の工夫をすることで快適な空間を創造できることを理解している。 ・生活行為と住空間とのかかわり、動作に必要な広さ、家具の配置や動線などについて理解している。 ・平面図が読み取れ、住空間の計画について検討することができる。 ・健康に配慮した衛生的な住まいや室内環境の整備に必要な技術を身につけている。 ・安全に配慮した室内環境の整備や住空間の整備に必要な技術を身につけている。 ・防災・減災に対する備えについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・住まいの機能や住空間と家族の暮らし方などについて、考えをまとめたり、発表することができる。 ・健康や安全に配慮した住まいや室内環境の整備について考えを深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・住まいの機能、人間と住まいの関わりについて考えることができる。 ・家族構成、ライフステージ、生活にかかわる価値観などに応じた住空間の計画について検討することができる。 ・健康で快適に生活するための住まいについて考えることができる。 ・防災・減災について理解し、自分の住まいや地域の住環境を見直すことができる。				12

<p>第8章 経済生活のマネジメント</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収入と支出からなる家計について理解する。 ・生涯を見通した経済計画の必要性について理解する。 ・契約、クレジット、ローンについて理解し、適切に自己管理する。 ・消費者問題から消費者を救済する制度や法律について理解する。 ・消費者として主体的に判断し、行動するために必要な生活情報を適切に活用する。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の経済活動が企業や政府などの経済活動とつながっていることについて考えを深める。 ・多様化する消費生活の課題について考えを深め、まとめたり発表したりする。 ・消費者として責任ある行動とはどのような行動か、考えを深め、まとめる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯起こりそうなリスクを想定しながら、経済計画について具体的に考える。 ・消費者問題や消費者を救済する法律や制度に関心をもち、 ・消費者として消費生活の現状や課題、生活情報の収集と活用について関心をもち、消費者としての自らの行動を考える。 	<p>指導事項</p> <p>1 経済的な自立／家計の構造と社会／経済計画とリスク管理</p> <p>①毎日の生活を営むために必要な費用を知る。</p> <p>②家計を中心とした経済の循環を知る。</p> <p>③家計管理と資金管理について知る。</p> <p>2 消費と契約／購入方法・支払い方法の多様化／消費者信用の利用と管理</p> <p>①消費にかかわる契約について理解する。</p> <p>②消費生活は複雑化・多様化していることを理解する。</p> <p>③商品の購入方法・支払い方法の種類と特徴について知る。</p> <p>④消費者信用について理解する。</p> <p>3 多様化する消費者問題／消費者保護の法律と仕組み</p> <p>①消費者問題の現状を知り、消費者を救済する法律や制度について理解する。</p> <p>4 消費者の権利と責任</p> <p>①消費者の権利が確立された歴史的動向を知り、消費者の権利と責任のあり方について考える。</p> <p>教材等</p> <p>教科書・学習ノート・資料集</p>	<p>第8章 経済生活のマネジメント</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収入と支出からなる家計について理解している。 ・生涯を見通した経済計画の必要性について理解している。 ・契約、クレジット、ローンについて理解し、適切に自己管理することができる。 ・消費者問題から消費者を救済する制度や法律について理解している。 ・消費者として主体的に判断し、行動するために必要な生活情報を適切に活用することができる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の経済活動が企業や政府などの経済活動とつながっていることについて考えを深めることができる。 ・多様化する消費生活の課題について考えを深め、まとめたり発表したりすることができる。 ・消費者として責任ある行動とはどのような行動か、考えを深め、まとめることができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯起こりそうなリスクを想定しながら、経済計画について具体的に考えることができる。 ・消費者問題や消費者を救済する法律や制度に関心をもちることができる。 ・消費者として消費生活の現状や課題、生活情報の収集と活用について関心をもち、消費者としての自らの行動を考えることができる。 	○	○	○	12
<p>第10章 衣生活のマネジメント</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・被服材料の種類と特徴、性能について理解する。 ・縫製の基本技術を正しく理解し、技能が身につける。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作業工程について理解し、進度を考えながら取り組む。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習において、丁寧に意欲的に取り組む。 	<p>指導事項</p> <p>衣生活実習</p> <p>①基本的な手縫いやボタン付け等の縫製技術を理解し、身につける。</p> <p>教材等</p> <p>教科書・学習ノート・資料集</p>	<p>第10章 衣生活のマネジメント</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・被服材料の種類と特徴、性能について理解している。 ・縫製の基本技術を正しく理解し、技能が身につけている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作業工程について理解し、進度を考えながら取り組みことができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習において、丁寧に意欲的に取り組むことができる。 	○	○	○	5
<p>定期考査</p>			○	○	○	1
<p>3 学期</p> <p>第10章 衣生活をつくる</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人と被服の関わりについて考える。 ・被服の機能について理解する。 ・被服材料の種類と特徴、性能について理解する。 ・用途や着用目的に合った被服を選択する。 ・洗剤の特徴と汚れが落ちる仕組み、洗濯の特徴について理解する。 ・被服材料に応じた取り扱いができる。 ・縫製の基本技術を正しく理解し、技能が身につける。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の衣生活について振り返り、課題を見つける。 ・用途や着用目的に合った被服材料の選択について具体的に考える。 ・被服材料の性能と特徴について理解し、合理的な洗濯の方法について考える。 ・作業工程について理解し、進度を考えながら取り組む。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・衣生活に関心をもち、人間と被服の関係を考える。 ・実習において、丁寧に意欲的に取り組む。 	<p>指導事項</p> <p>1 衣生活の現状と課題／被服の機能と快適性</p> <p>①人と被服の関係を、被服の歴史から確認する。</p> <p>②被服の機能について理解し、TPOに応じた被服の着用ができるようにする。</p> <p>2 被服材料と性能</p> <p>①被服材料の種類、性能、性能向上の各種加工法を知る。</p> <p>②被服の管理</p> <p>①洗濯の目的と方法、洗剤の種類と働きを理解する。</p> <p>②被服の洗濯以外の手入れ方法を知る。</p> <p>③取り扱い絵表示を理解する。</p> <p>4 衣生活実習</p> <p>①基本的な手縫いやボタン付け等の縫製技術を理解し、身につける。</p> <p>教材等</p> <p>教科書・学習ノート・資料集</p>	<p>第10章 衣生活のマネジメント</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人と被服の関わりについて考えることができる。 ・被服の機能について理解している。 ・被服材料の種類と特徴、性能について理解している。 ・用途や着用目的に合った被服材料の選択することができる。 ・洗剤の特徴と汚れが落ちる仕組み、洗濯の特徴について理解している。 ・被服材料に応じた洗濯、仕上げ、保管することができる。 ・縫製の基本技術を正しく理解し、技能が身につけている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の衣生活について振り返り、課題を見つけることができる。 ・用途や着用目的に合った被服材料の選択について具体的に考えることができる。 ・被服材料の性能と特徴について理解し、合理的な洗濯の方法について考えることができる。 ・作業工程について理解し、進度を考えながら取り組みことができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・衣生活に関心をもち、人間と被服の関係を考えることができる。 ・実習において、丁寧に意欲的に取り組むことができる。 	○	○	○	13
<p>定期考査</p>			○	○	○	1
合計						70